

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

令和3年度通常総会 補足資料

■ 通常総会タイムテーブル (あくまでも目安です。状況により変更となります)

時刻	時間	内容
14:00～14:20	20分	定足数確認、開会、議長・議事録署名人選出、趣旨説明、役員紹介
14:20～15:05	45分	第一号議案 令和2年度事業報告並びに決算及び監査報告について
15:05～16:25	80分	第二号議案 令和3年度事業計画並びに予算について (第二号議案 審議の間に休憩を15分程度予定しています。)
16:25～16:50	25分	第三号議案 令和3年度役員の選任について
16:50～17:00	10分	その他報告、質疑応答・意見交換、閉会

■ 「総会議事資料に関する意見交換会」ご報告 (Q&A集)

オンラインで3回開催した「総会議事資料に関する意見交換会」での質疑応答をまとめました。

1. 質問

- 1) 支援・助言事業の「にFAJ全体のリソース(人、ノウハウ、コンテンツ)の活用を図ります」、具体的にどんなことをやるのでしょうか？

回答) FAJ内には様々な背景・経験・知見を持った会員の方がいます。それぞれの会員の皆さんがファシリテーターとしてFAJ内外の活動を通して、積み上げてきた技術や実績やノウハウ、さらには各地域や他団体とのつながりがリソースとしてあると感じています。会員の皆さんに活動に参加していただくことを通して、依頼者のニーズに沿って、チームとしてプログラムコンテンツの検討・作成や、状況に応じて相談やアドバイスをするなど幅の広いサポートをしていくことを考えています。

- 2) 今期の計画に新たなビジョンを策定するとありますが、何のために策定するのですか？

回答) わたしたちが活動を進めるにあたって、ビジョンは常に考えていかなければならないものと認識していますが、ビジョン3.0の策定時点からわたしたちや社会の状況が大きな変化を迎えている中、ビジョン3.0が手つかずの状態となっていました。そこで、わたしたちや社会の状況、ファシリテーションの可能性の広がりを捉え、新たなビジョンを策定するものです。策定したビジョンが結果大きく変わるものかはわかりませんが、策定プロセスも含め、一緒に考えていきませんか。

- 3) 「新たなビジョン」、どんなプロセスでつくるのですか？

回答) わたしたちが常に意識して活動できるビジョンづくりのプロセスを考えています。

いまのところ、①ビジョンを作る。②ビジョンを浸透させる。③アクションにつなげる。という3つのステップを検討しています。

- 4) 「FAJ 内部での協働と共創を促進する仕組みについての案を作成」案は見ることはできるのですか？
- 5) 「テーマ型サロンやプロジェクトなど既存の仕組みから、さらなるチャレンジが生まれやすい仕組み」事業別の重点内容には表れていないけど、どんな構想でしょうか？「ワクワク」とはどんな意味か？

回答) 協働促進プログラム(仮)を実施していきたいと考えています。4月理事会において準備室を立ち上げました。詳しくは、4月議事録 添付資料をご覧ください。

- 6) 「2025年に開催される「大阪・関西万博」の共創パートナーにエントリーすることになった経緯を詳しく、FAJに期待されていることを含めて伺いたいです。

回答) 多くの団体が参加し共創する「TEAM EXP02025」プログラム／共創チャレンジはFAJが目指すファシリテーズ・ターミナルを実践する場の一つとして相応しいと考え、共創パートナーにエントリーしました。

共創チャレンジの活動では、会員の皆さんがファシリテーターとしてFAJ内外の活動を通して、積み上げてきた技術や実績やノウハウ、さらには各地域や他団体とのつながりを提供できると考えています。

- 7) 意見交換会の開催目的に「より多くの方々の声を反映した法人運営に資するため」とあります。しかしながら、今回の意見交換会はZoomが使えることが前提であるため、より多くの声にはならないと思います。Zoom以外にも多くの手段があると思いますが、なぜZoomのみの開催になったのか教えてください。

回答) 参加の方法がオンラインのみで、オンラインツールも一択というのは、幅広い感じは持たれなかったかもしれません。しかしながら、緊急事態宣言が出ている社会的状況・感染リスクなどを配慮し、私達の持っているリソースや、定例会などでのzoom利用実績も踏まえ、開催日程および方法を決定いたしました。より多くの方々の声を届ける場を今後検討していきます。

- 8) 予算にoViceが20万円と少額とはいえないものが計上されていますが、本当に必要で対価が見合うものでしょうか？ 金額の割にはきちんとした説明を聞いた記憶がありません。

回答) これまでわたしたちは様々なオンラインツールを用いて、議論する場をつくり、コラボレーションを高めていくノウハウを作り上げてきました。常にオープンな場があり、そこで偶然な出会い、懇親会や立ち話のような自由な交流が起きる可能性をoViceに感じたため、試行運用することとしました。

イベントも2回開催し、延べ1,200名近くの利用があるところですが、周知が未だ十分ではない状況と思っています。現在の社会状況だからこそ、出会いやつながりから、新しい価値を創造していきたいと考えています。

- 9) 理事会議事録の会員への共有が非常に遅れている。事務局体制の問題なのか、理事会側の問題なのか不明だが、解消できる形を模索してほしい。

回答) 令和2年度については、議事録をスムーズにお届けすることができず、みなさまに大変ご迷惑をおかけしたことを申し訳なく感じております。今年度については、1~2ヶ月の間に出せるようにしたいと思っています。

2. 総会資料に関する意見

- 1) 新年度の赤字は収入減の中で活動量を維持する意図なので、単年度に限れば賛成です。繰り越し金はまだ余裕があるので、この間に今後の事業展開を考えて行けたらいいかと思います。
- 2) 事業計画、やってみたらええやん！の核となる主な事業、活動が3つぐらいわかりやすく示してあるとイメージが付きやすいのですが、のっぺりと全事業について同じ分量、熱量、順序どおりに正しく書かれているのでポイントがわからない。少しモヤッとしています。
- 3) やってみたらええやん！良いと思います。チャレンジできる予算だと思いました。今までFAJに参加できない人が参加できる仕組みができるのもっと良いと思います。
- 4) グループ内でもでしたが、コロナが終わった後の時代や、今後の展望なども見据えていけるといいなと思います。

→ ご意見として承ります。

■総会議事資料正誤表

誤	正
P8 4. 交流・親睦事業 地域イベント:1月28日 オンライン 中部支部イベント	P8 4. 交流・親睦事業 地域イベント:11月28日 オンライン 中部支部イベント
P22 令和3年度「特定非営利活動に係る事業」活動 予算書 I.収入の部 2 事業収入 支援・助言事業収入 災害復興委員会 345,000	P22 令和3年度「特定非営利活動に係る事業」活動 予算書 I.収入の部 2 事業収入 支援・助言事業収入 災害復興委員会 1,650,000 ※この修正に伴いまして、小計・合計が変更になっておりますので、次ページにてご確認ください。

令和3年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

以下の予算は2021年2月に策定したものです。コロナ禍の状況でファンリテーションの必要性がより高まっていることを踏まえ、私たちが目指す姿の実現に向けた歩みを止めないことを念頭に策定しました。コロナの状況については各拠点の地域性や事業内容によって異なっていますが、拠点の想定に基づく予算となっています。

2021年4月1日から2022年3月31日まで

単位＝円

科目	2021年度予算 予算内訳												
	事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	公開セミナー	サミット	ファシサポ	災害復興	
I 収入の部													
1 会費収入													
個人会費収入	12,500,000	12,500,000											
法人会費収入	200,000	200,000											
	12,700,000	12,700,000											
2 事業収入													
調査・研究事業収入	2,148,580		82,500	360,000	24,000	75,000	36,000	12,000		1,559,080			
教育・普及事業収入	8,922,040								8,922,040				
支援・助言事業収入	4,370,000										2,720,000	1,650,000	
交流・親睦事業収入	2,068,500	160,000	228,500	500,000	140,000	750,000	90,000	200,000					
	17,509,120	160,000	311,000	860,000	164,000	825,000	126,000	212,000	8,922,040	1,559,080	2,720,000	1,650,000	
3 寄付金収入													
個人寄付金													
法人寄付金													
4 助成金等収入													
民間助成金													
収入合計	30,209,120	12,700,000	160,000	311,000	860,000	164,000	825,000	126,000	212,000	8,922,040	1,559,080	2,720,000	1,650,000
II 支出の部													
1 事業費													
調査・研究事業支出													
会場使用料	3,661,800	189,800	152,000	1,400,000	345,000	260,000	108,000	235,000		782,000	190,000		
事務消耗品費	649,000	20,000	30,000	190,000	40,000	200,000	10,000	130,000		10,000	19,000		
交通宿泊費	2,910,000	480,000	240,000	720,000	100,000	300,000	200,000	85,000		80,000	705,000		
謝礼等	1,828,000	56,000	112,000	700,000	200,000	450,000	60,000	50,000		200,000			
印刷費	271,000	15,000	24,000	145,000	20,000	25,000	10,000	12,000		20,000			
会議費	309,000	15,000	44,000	50,000	20,000	100,000	30,000	30,000		20,000			
雑費	406,000	3,000	20,000	60,000	40,000	50,000	50,000	12,000		171,000			
外部委託料	169,195			60,000	10,000	3,000				96,195			
研究開発費	30,000											30,000	
	10,233,995	778,800	622,000	3,325,000	775,000	1,388,000	468,000	554,000		1,379,195	914,000	30,000	
教育・普及事業支出													
会場使用料	1,900,000								公開セミナー	1,900,000			
事務消耗品費	210,000									210,000			
交通宿泊費	2,700,000									2,700,000			
謝礼等	4,219,110									4,219,110			
印刷費	454,000									454,000			
会議費	213,000									213,000			
雑費	110,000									110,000			
	9,806,110									9,806,110			
支援・助言事業支出													
会場使用料	50,000											50,000	
事務消耗品費	32,000											22,000	
交通宿泊費	2,240,000											680,000	
謝礼等	1,965,000											980,000	
印刷費	60,000											60,000	
会議費	3,000											3,000	
雑費	184,000											2,000	
	4,534,000											1,684,000	
交流・親睦事業支出													
会場使用料	1,095,000	100,000	65,000	230,000	200,000	350,000	50,000	100,000					
事務消耗品費	125,000	10,000	10,000	30,000	5,000	35,000	10,000	25,000					
交通宿泊費	960,000	160,000	50,000	50,000		100,000	50,000	100,000	450,000				
謝礼等	673,000	56,000	56,000	80,000	115,000	60,000	50,000	50,000	200,000				
印刷費	164,000	14,000	40,000	30,000	20,000	30,000	20,000	10,000					
会議費	103,000	5,000	35,000	24,000	10,000	20,000	5,000	4,000					
雑費	459,770	15,000	20,000	50,000	9,000	100,000	15,000	4,000	246,770				
外部委託料	110,275	55,000		30,000	15,275		10,000						
	3,690,045	415,000	276,000	500,000	339,275	750,000	220,000	293,000	896,770				
事業予備費	2,000,000	2,000,000											
事業費計	30,264,150	2,000,000	1,193,800	898,000	3,825,000	1,114,275	2,138,000	688,000	847,000	10,702,880	1,379,195	2,598,000	2,880,000
2 管理費													
広報費	420,000	200,000	160,000	60,000	詳細								
交通宿泊費	3,270,000	2,350,000	300,000	620,000	パンフ改訂・印刷20万(事務)、プレスリリース6万(広報)WEBサイト年間維持費16万(システム)								
謝礼等					理事会25万×7回、拡大理事会40万、(事務局)リアルMTG10万×2回、(システム)リアルMTG15万×2回								
会議費	650,000	600,000	30,000	20,000	一交通費続キー(広報)リアルMTG30万、取材交通費32万								
事務消耗品費	50,000	50,000			(理事会)通常5万×6、拡大10万 役員合宿20万、(広報)3万、(システム)2万								
通信運搬費	301,000	301,000			名刺代4万、その他備品消耗品								
諸会費	90,000	90,000			郵便6万、電話2.6万、Zoom使用料1.5万、oVice20万								
雑費	490,000	10,000	10,000	470,000	JVOAD5万、シーズ3万、日本NPOセンター1万								
資料印刷費	1,075,000	75,000		1,000,000	Stock管理費用2万、NL発送費 47万 他								
総会関係費用	700,000	700,000			封筒7.5万 NL印刷費用100万								
外部委託料	2,661,500	1,901,500	360,000	400,000	会場費25万、送料(発送作業含)25万、資料等印刷20万								
支払手数料	500,000	500,000			(システム)web保守、(広報)NL編集外部委託								
賃借料	980,000	980,000			振込手数料25万、EB使用料5万(2.5万×2)、会費払込手数料20万								
租税公課等	330,000	330,000			家賃66万(5.5万×12か月)、倉庫(中部、関西)28.6万、セミナー倉庫代 3万他								
保険料等	55,000	55,000			法人税均等割7万、消費税26万								
					損害保険								
管理費計	11,572,500	8,142,500	860,000	2,570,000									
支出合計	41,836,650												
当期収支差額	-11,627,530												
前期繰越収支差額	39,773,771												
次期繰越収支差額	28,146,241												